

稲作

- ・ 適期を見極めた収穫で高品質米生産
- ・ お米の異品種混入(コンタミ)に気をつけましょう!

検査

- ・ 平成24年産秋まき小麦初検査

麦作

- ・ 第33回(平成24年度)北海道麦作共励会の参加者・集団を募集中
- ・ 全国麦作共励会年度別受賞一覧(北海道関係分)



平成23年度 水稲作柄現地調査(新十津川町)

会報誌「北海道米麦改良」はホームページでもご覧になれます。

<http://www.beibaku.net/>

社団法人 北海道米麦改良協会

売れる米を 低コストで 安定生産

めざそう 小麦の 品質向上

農産物検査の信頼性確保  
を目指して

JA グループ北海道は一丸となって  
農産物検査の信頼性確保に努めています

も く じ

稲 作	適期を見極めた収穫で高品質米生産……………	1
	お米の異品種混入（コンタミ）に気をつけましょう！……………	3
検 査	平成24年産秋まき小麦初検査……………	4
麦 作	第33回（平成24年度）北海道麦作共励会の参加者・集団を募集中……………	5
	全国麦作共励会年度別受賞一覧（北海道関係分）……………	6

## 稲 作

## 適期を見極めた収穫で高品質米生産

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 中央農業試験場

生産研究部 部長 竹中秀行

今年の春は好天に恵まれて作業は順調に進み、その後生育も順調に推移しているようです。さて、稔りの秋、皆さんが丹精込めて育てた稲です。ほ場毎に適期を見極めて最良の状態を高品質なお米を収穫して下さい。

収穫時期は米の品質に大きく影響し、遅くなると未熟粒は減りますが、立毛中の胴割れや茶米などが増え、製品全体の品質が低下します。年次によって適期が集中することもあり、以下に示す手順を守って的確に収穫時期を見極め、計画的に収穫しましょう。

## ■収穫適期判断の手順

収穫適期は次の手順で積算温度や籾の熟色で成熟期を予測した上で、必ず試し刈りをして玄米を見て判定しましょう。

## 1. 積算温度で成熟期予測

出穂期以降の日平均気温の積算値が950℃に達する日を成熟期とします。品種や籾数の多少によって異なります。この日から一週間後が収穫適期の目安と考えますが、あくまでも予想としてとらえます。

## 2. 籾の熟色による成熟期判定

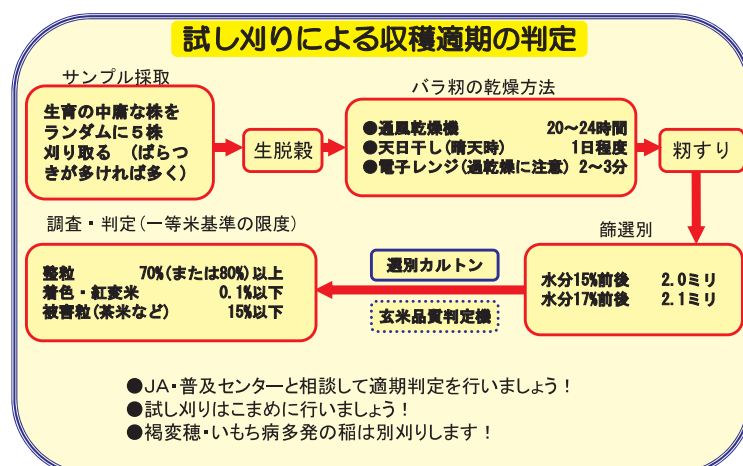
予測した成熟期が近づいたら、好天日に1株あたりの黄化籾の割合を目視で確認します。成熟期とは全籾の90%が黄化し、完熟籾となった日です。完熟籾かどうかは籾の付け根にある護穎（ごえい）が黄色になっていることで判断します。見る時は太陽を背にして見

ます。逆光では色の判断を誤ります。籾の裏側も忘れずに確認します。

## 3. 試し刈りをして玄米による収穫適期判定

積算温度や籾の熟色による判定で成熟期が近づいたら、試し刈りして玄米にし、整粒歩合で収穫適期かどうかを判断します。試し刈りではほ場の中で中庸な稲株を5株ほど刈り取りますが、ばらつきが多いほ場では多めにサンプルを取りましょう。これを生脱穀して、乾燥してからもみすりし、篩を通して整粒歩合を確認します。適期の確認はほ場ごとに行います。整粒歩合が70%以上となれば収穫適期です。登熟は1日に2～3%進みますが、気象によって変化しますので、あくまでも目安として下さい。

以下の図を参考にして下さい。



## ■収穫作業の注意点

1. ほ場内で倒伏しているところ、登熟が遅れているところの稲は別刈りしましょう。その他の稲と一緒にすることで品質低下を招くおそれがあります。褐変穂やいもち病発生があった場所も同様です。収穫した生籾は速やかに乾燥機にかけましょう。生籾のまま長時間放置すると玄米が変色します。
2. 収穫前には場毎の作付け品種を再確認し、異品種混入を避けましょう。コンバインは品種が切り替わる時はよく清掃しましょう。おなじ機械で小麦を刈り取った場合はいうまでもありません。また、刈り取りの時、泥や石などが入らないよう注意しましょう。

## ■乾燥調製における留意点

玄米水分が14.5～15.0%になるよう均一に仕上げます。粒毎の水分を均一に上げるためには二段乾燥を勧めます。二段乾燥は籾の水分ムラを少なくし、乾燥後の玄米水分の戻りを防ぐことができます。また、乾燥に由来する胴割れの減少、過乾燥の防止、総乾燥時間の短縮、灯油消費量の低減などのメリットもあります。ただし、半乾の状態は貯蔵に適した水分ではありませんので、半乾のまま何日も無通風で貯留することは品質を保持する

上で危険なので避けます。乾燥中は乾燥機の水分計を目安に水分をチェックしますが、仕上げ水分の測定は米麦水分計を使って青米を除いて玄米で行い、整粒が過乾になるのを避けます。

乾燥初期は籾水分が高いので、品質低下を考慮して高温乾燥を避けます。籾水分が25%以上なら、熱風温度40℃以下で乾燥させ、25%以下になってから通常の熱風温度で乾燥させましょう。

乾燥機もコンバインと同様に品種が切り替わる前には丁寧に清掃して異品種の混入を避けましょう。

乾燥機は使用前に整備して不完全燃焼のないようにし、乾燥機の表示水分計だけに頼らず、仕上げ水分をチェックするなど、適切な使用を心がけ、異臭クレームの発生を防ぎましょう。

## ■調製作業

粒厚選別だけでは腹白米や着色粒は除去できません。粒厚選別機と色彩選別機を組合せた選別技術を用いることで、さらに歩留まりと整粒割合が向上します。これは従来よりもわずかに細かい篩目で選別してから色彩選別機にかけることにより、歩留・整粒割合を向上させる技術です。

# 稲 作

## 米啓発リーフレット「お米の異品種混入(コンタミ)に気をつけましょう！」(平成24年8月発行)

コンタミ事故が増加しています。収穫や出荷の際も十分に注意を払い作業しましょう！

平成24年度  
資料第2号

### お米の異品種混入(コンタミ)に気をつけましょう！

#### 品種別管理に細心の注意を！

- 米の販売が、品種銘柄中心となっていることや、JAS法(農林物資の規格化及び品種表示の適正化に関する法律)の施行などにより、産地から出荷する米穀については「表示銘柄以外の混入のない米穀」であることが必須となっています。
- しかし、北海道米においては、収穫作業から米穀集出荷施設搬入までの段階で混入したと思われる異品種混入(コンタミ)事故の発生が見られています。
- 近年は、施設が大型化していることから、一旦事故が発生すると対象米穀の数量と被害の金額がより大きくなる傾向にあるため、一層の注意が必要となっています。

●北海道米の安全・安心を確保して実需者からの信頼を高めていくために、産地において「異品種混入ゼロ」の出荷体制の確立を目指しましょう。

クレーム件数の比率(23年産)

クレーム数量の比率(23年産)

平成24年8月  
北海道/道総研農業研究本部/ホクレン/北集/北海道米改良協会

### 事故の主な事例(原因と対策)

#### その1 作業段階での確認不足

**事例** 「収穫」「乾燥」「出荷」の一連の作業を家族内の複数人員で行っていたため、取扱品種の共通認識・管理がなされておらず、コンタミ事故を招いた。

**原因** 「収穫」～「出荷」までの各作業において、品種名の表示や確認がなされていなかった。

**対策** 各作業段階において、誰が見ても品種がわかるよう、品種名を明示するとともに、確認を徹底しながら作業を行う。

#### その2 播種・育苗・移植段階での取り違え

**事例** 「播種」もしくは「移植段階」において品種の取り違えがあったが、そのまま収穫され、大型施設に出荷されたことから大規模なコンタミ事故の発生となった。

**原因** 品種名をよく確認せず、播種作業・移植作業を行っていた。

**対策** コンタミ防止は種子予借作業時から行わなければならないことを認識し、「播種」「育苗」「移植時」にも品種名を確認の上、作業を進め、出荷時においても、種子購入量・播種量・作付面積・収穫量の突合・確認を行う。

### その3 施設出荷・搬入時の品種取り違え

**事例** 収穫された籾・玄米を施設に出荷するにあたって、生産者が輸送業者に作業を委託したが、施設搬入の際、品種の取り違えがあり、コンタミ事故が発生した。

**原因** 生産者・輸送業者・施設担当者それぞれにおいて、品種名の確認を徹底していなかった。

**対策** 施設出荷にあたっては品種名を明示し、それぞれが品種名の確認を徹底しながら作業にあたる。

### 収穫～出荷期も細心の注意を払おう！

- 1 収穫作業開始前の準備(8月)**
  - 収穫前には、コンバイン・乾燥機・籾攪機・粒選別機などの保守点検と整備を必ず行い、掃除機やエアガンなどを用いて丁寧に清掃しましょう。
  - 収穫作業を委託する場合は、ほ場別に立札などを設置して、品種名を明記しましょう。
- 2 収穫作業(9月)**
  - コンバインは、品種切替時に籾が残留しやすい各搬送部の底面およびコーナ部分の清掃を徹底しましょう。(または、品種別に専用コンバインを設置して、共同利用しましょう。)
  - 籾の搬送機材(軽トラックを含む)は搬送1回ごとに清掃しましょう。
- 3 乾燥調製作業(9～10月)**
  - 乾燥機の荷受ホッパーが床式の場合は、荷受口周辺に仕切板などを設けましょう。

- 張込時に床に落ちた籾は、荷受ホッパーに掃き入れないで処分しましょう。
- 乾燥作業の際、乾燥機には、品種名を表示しましょう。
- 乾燥機は、乾燥前と品種切替時に、掃除機やエアガンなどで丁寧に清掃しましょう。特にバケツエレベーターの下部やスクルーコンベアなどの搬送部分に籾が残留しやすいので注意しましょう。(又は、品種別専用乾燥機を設置して共同利用しましょう。)
- 乾燥籾の一時貯留庫・仕上げ乾燥後の保管容器(初穀を含む)には品種名を表示しましょう。
- 籾攪・粒選別機は、品種切替ごとに丁寧に清掃して、米粒が残留しないようにしましょう。
- 米を包装資材に充填する際には、印刷されている品種名を確認しましょう。 ※収穫・乾燥・粒選別・袋詰めなどの各作業において、品種の取り違えが多くなっていますので細心の注意を払きましょう。

#### 4 出荷作業(9月～10月)

- 原料米(生籾・半乾籾・乾籾・粗玄米)の搬送容器(フレコン・コンテナなど)は出荷するたびに清掃しましょう。
- 搬送容器には、必要事項(ほ場No・品種名・氏名・乾燥調製月日など)を必ず記入しましょう。
- 包装容器の取り違え、票せんへの品種誤記入などは、その後の精米段階で他品種と混合する要因になるため十分に注意しましょう。
- 農産物検査時には包装容器に氏名・品種名を荷札・カード等でも明記し、品種の取り違えを防止しましょう。

お米の異品種混入(コンタミ)に気をつけましょう！  
平成24年9月  
北海道道総研農業研究本部  
米麦改良協会

## 検査

### 平成24年産秋まき小麦初検査

#### 7月30日道内トップを切って秋まき小麦の等級検査がスタート!!

24年産の秋まき小麦の生育は、は種時期の天候不順で、は種作業が極端に遅れ、さらに空知、石狩、上川では大雪と融雪の遅れにより湿害や冬枯れが発生し、廃耕も平年に比べ多くなりました。その後、高温・小雨で経過したため、出穂期は平年並みに回復しました。春からの生育期間が短くなったことと、は種遅れが重なり、草丈は短め、穂数は平年の8割程度と少なくなりました。登熟期間も、一部の地域で干ばつの影響が強かったところを除き、好天に恵まれたことから十分に登熟しました。

このような生育状況のなか、本年産の初検査が7月30日 JA たきかわ（空知管内）で行われました。検査の内容は、秋まき小麦「きたほなみ」280トンで、その全量が1等（Aランク）に格付けされました。今後、順次全道各地において米穀、豆類など、農産物の検査を実施してまいります。

刈取日	7月21日（土）
検査日	7月30日（月）
検査場所	JA たきかわ 北の米蔵検査場所
銘柄	「きたほなみ」
等級	1等
検査数量	280トン
成分内容	水分 : 11.4%
	容積重 : 870 g / ℓ
	たんぱく : 10.2%
	灰分 : 1.28%
	FN : 368 / sec



JA たきかわ検査場所（検査員大谷光男）

#### 検査部の品位程度統一・指導体制

本年度の検査体制は、従たる事務所97箇所、検査場所213箇所、品位等検査の登録検査員819名、小麦の成分分析検査員3名となっています。

検査数量は、米穀・小麦・大豆など8種類を対象に143万トンを計画しています。

指導体制では、全道の品位程度統一のため、本部技監4名を中心に指導的検査員である地区統括検査員11名とともにJAの実務責任者を核として程度統一を図ってまいります。



試料鑑定と全道程度統一にあたる本部技監（狩野・樋口・内海・米陀技監）

## 第33回（平成24年度）北海道麦作共励会の 参加者・集団を募集中

～全道の各地から優秀な事例を募集しています。  
たくさんのご参加をお願いいたします。～

※第32回（平成23年度）北海道麦作共励会で最優秀賞に輝いた方々

『表彰式会場にて（平成24年3月2日（金）ホテルモントレエーデルホフ札幌）』

◎ 加藤さんご夫妻（小清水町） 第1部 畑地における秋播小麦＜個人＞



◎ 水沢平誠会（美瑛町） 第1部 畑地における秋播小麦＜集団＞



左：渡辺副会長 右：矢野会長

※参加申込期日は、10月末です。

詳細は、各地区の米麦改良協会へお問い合わせ願います。

☆推薦調書用紙（Word形式）は、ホームページからダウンロードできます。

<http://www.beibaku.net/>

## 麦 作

## 全国麦作共励会年度別受賞一覧（北海道関係分）

※敬称略

年 度	個 人 の 部	集 団 の 部
平成23年	大臣賞 加藤 優 (小清水町)	全農賞 水沢平誠会 (美瑛町)
平成22年	全中賞 三谷 吉一 (滝川市)	出展なし
平成21年	大臣賞 高橋 和男 (津別町)	大臣賞 報徳麦作組合 (美幌町)
平成20年	協会賞 小林 博明 (遠別町)	新聞賞 滝上町畑作振興会小麦生産部会(滝上町)
平成19年	新聞賞 馬場 旭 (伊達市)	全中賞 帯広大正農業協同組合 (帯広市)
平成18年	大臣賞 三上 博由 (清里町)	協会賞 常呂町麦生産部会 (常呂町)
平成17年	大臣賞 竹内 峰夫 (小清水町)	協会賞 水上パイロット利用組合(小清水町)
平成16年	協会賞 宮口 孝治 (足寄町)	大臣賞 朱円麦作集団 (斜里町)
平成15年	協会賞 東 康夫 (新篠津村)	大臣賞 清水町秋播小麦採種組合(清水町)
平成14年	全中賞 林 博 (本別町)	新聞賞 音更種子小麦施設利用組合(音更町)
平成13年	大臣賞 松浦 穰 (池田町)	協会賞 朱円西麦作集団 (斜里町)
	協会賞 富永 政博 (江別市)	
平成12年	全農賞 安井 圀 (中富良野町)	協会賞 訓子府麦作振興会 (訓子府町)
平成11年	全中賞 水口 博光 (更別村)	全農賞 来運麦作集団 (斜里町)
平成10年	大臣賞 山下 芳久 (本別町)	出展なし
平成9年	大臣賞 木村 隆美 (音更町)	協会賞 芽室町小麦採種組合 (芽室町)
平成8年	新聞賞 中道 幸夫 (追分町)	出展なし
平成7年	全中賞 大西 宣充 (美瑛町)	出展なし
平成6年	全中賞 斉藤 博一 (小清水町)	大臣賞 オホーツク網走農協第24営農集団(網走市)
平成5年	全中賞 山木 忠雄 (伊達市)	全農賞 松沢畑作クラブ (清水町)
平成4年	全中賞 岡谷内孝敏 (芽室町)	協会賞 住吉麦作組合 (音更町)
平成3年	協会賞 岡田 愛啓 (浦幌町)	大臣賞 郊南麦生産組合 (足寄町)
平成2年	全農賞 山 貞雄 (帯広市)	大臣賞 南網走第22営農集団 (網走市)
平成1年	全中賞 寺島 勝一 (美瑛町)	協会賞 清川地区麦生産組合 (帯広市)
昭和63年	全中賞 中村 和順 (女満別町)	大臣賞 福野麦作生産組合 (訓子府町)
昭和62年	全中賞 火ノ川静夫 (帯広市)	出展なし
昭和61年	協会賞 高見 茂 (清里町)	新聞賞 湖南第2採種小麦組合(女満別町)
昭和60年	全中賞 小林 秀雄 (芽室町)	全農賞 大和麦作組合 (音更町)
昭和59年	新聞賞 後藤 静雄 (芽室町)	全中賞 基松地区小麦生産組合 (帯広市)
昭和58年	協会賞 木村 光雄 (端野町)	協会賞 自協協同組合 (栗沢町)
昭和57年	協会賞 山端 鉄郎 (幕別町)	全中賞 大和麦作組合 (音更町)
昭和56年	協会賞 渡辺 忠 (北見市)	出展なし
昭和55年	新聞賞 加藤 俊夫 (端野町)	協会賞 下足寄太トラクター利用組合(足寄町)
表彰別	大臣賞 7 回	大臣賞 7 回
	協会賞 9 回	協会賞 9 回
受賞回数	全中賞 11 回	全中賞 3 回
	全農賞 2 回	全農賞 5 回
	新聞賞 4 回	新聞賞 3 回

☆大臣賞＝農林水産大臣賞（品質改善・収量性向上等、すべての努力に対する評価）

☆協会賞＝全国米麦改良協会会長賞（品質改善の努力に対する評価）

☆全中賞＝全国農業協同組合中央会長賞（収量性向上の努力に対する評価）

☆全農賞＝全国農業協同組合連合会長賞（作業性向上の努力に対する評価）

☆新聞賞＝日本農業新聞会長賞（技術改良の努力に対する評価）



ホームページでもご覧になれます。http://www.beibaku.net/

# 小麦 適期播種



## 輪作体系で障害を克服!

### 連作障害

- 連作すると、立枯病、条斑病、縞萎縮病、各種雪腐病などの病害が多くなります。
- 連作により、雑草も増えます。

### 対応策

- いくつかの作物で輪作を組むと、根が健全に育ちます。
- 3年以上できれば4年の輪作で障害を抑えましょう。

## 根を深くする耕起と土壌改良!



- 土壌を膨軟にする適切な耕起と明きよ・暗きよの点検整備で、排水性と通気性を良くしましょう。
- 土壌診断を行い、適正なpH(5.5以上)となるように土壌改善を行いましょう。

### 根の伸長阻害要因

- 地下水位が高い ● 土が堅い ● 養分が不足 ● pHが低い

## 播種時の肥料は...

- 窒素** ● 基肥には原則4kg/10aを施用し、残りは起生期以降に分施しましょう。
- 窒素供給の高い圃場では2kg/10aまで減らしましょう(道東)。
- リン酸** ● 全量(12~15 kg/10a) 基肥で施用しましょう。
- カリ** ● 全量(9~10kg/10a) 基肥で施用しましょう。

## 種子消毒は必ず実施!

- 紅色雪腐病や条斑病は、種子でも伝染する重要な病害です。種子消毒で防ぎましょう。

## 播種時期の異なるコムギ栽培!

### 秋まき小麦の大豆畦間ばらまき栽培

■9月上旬大豆の葉が黄変してから播種します。



### 春まき小麦の初冬まき栽培

■11月中旬～根雪直前に播種します。



## いつ播くか・どれだけ播くか!

### 播種適期

**【長い冬をしっかり生き抜くカラダを作る!!】**  
**【過繁茂にならないように!】**

地域の播種適期	道北、道央北部、 羊蹄山麓	道央中部 (気象・積雪条件が 比較的厳しいところ)	道央中部・南部	十勝、網走	網走内陸 (気象条件が 比較的厳しいところ)
播種適期	9月12日 前後	9月15日 前後	9月20日 前後	9月19日 ～28日頃	9月16日 ～20日頃
目標葉数	6葉	5.5～6.5葉	5.5～6.5葉	5葉	5葉

- 適期に播きましょう。
- 早すぎると、過繁茂になり、倒伏しやすくなります。
- 遅すぎると、雪腐病の被害を受けやすくなり、成熟期が遅れて赤かび病や穂芽腐の被害を受けやすくなります。

### 適正な播種量

「きたほなみ」の播種適期における適正な播種量

項目	道央・道北	道東
播種量(粒/m <sup>2</sup> )	100～140	140
播種量(kg/10a)	千粒重40gの場合 4.0～5.6	5.6
	千粒重36gの場合 3.6～5.1	5.1
越冬前目標茎数	1,000本/m <sup>2</sup> 程度	900本/m <sup>2</sup> 以下

出芽率  
90%  
を確保

- 播種量が少ないので、種子が無駄なく育みに育たないと、生育は大きなムラとなります。発芽率の高い種子を精度高く播きましょう。
- 「きたほなみ」以外で適期に播く場合は、170～255粒/m<sup>2</sup>となっています。過繁茂にならないように注意しましょう。

## 播種に関連するコンタミ防止!

- 1. 圃場の確保**
  - 前作で他の作物を作付けした圃場を選択する。
  - 異なる品種を隣りあわせて栽培する場合、一定の間隔を空ける。
- 2. 種子の確保**
  - 品種固有の純度を保持するため、来歴のはっきりした種子で100%種子更新する。
  - 種子消毒の際や種子配布にあたっては、使用する袋には「品種名」を明記する。
- 3. 播種作業**
  - 圃場周辺や圃場内、取り付け道路の清掃を徹底する。
  - 播種機は、作業前及び品種切り替え毎に清掃を徹底し、残粒したものは除去する。
- 4. 野良生えの防止**
  - やむをえず小麦の連作を行う圃場においては、野良麦を出芽させ、除草剤散布もしくはロータリーの複数施工で、完全に除去する。

生産者のみなさまへ 民間流通麦は契約栽培で成り立っています。契約面積を遵守のうえ、播種してください。

## 良質米麦の出荷目標



一等米 100%  
整粒歩合80%以上確保  
精米蛋白質含有率6.8%以下  
仕上がり水分14.5～15.0%  
入れ目1%以上確保  
全量種子更新



一等麦 100%  
低アミロ麦皆無  
DON暫定基準値1.1ppm  
以下でできるだけ低いこと  
赤かび粒混入限度 0.0%  
異臭麦皆無  
十分な入れ目の確保  
全量種子更新

## 農産物検査事業の方針

公平、公正、迅速に行う。  
必要な技術的能力の維持・向上に努める。  
客観性・公平性から他部門からの影響排除。  
制度の適正な運営に寄与する。



発行所

社団法人 北海道米麦改良協会

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル5階 TEL 011-232-6495 FAX 011-232-3673

【業務部】E-mail beibaku@basil.ocn.ne.jp

【検査部】E-mail beibaku-kensa@carrot.ocn.ne.jp

北海道米分析センター

〒069-0365 岩見沢市上幌向町216の2 TEL 0126-26-1264 FAX 0126-26-5872

E-mail bun1@plum.ocn.ne.jp

<http://www.beibaku.net/>